

平成23年度第2回新潟県公立大学法人評価委員会
～議事概要～

- 1 日時 平成23年8月8日(月)13時30分～
- 2 場所 新潟県庁201会議室
- 3 出席者
(委員) 田中委員長、青木委員、浦田委員、坂井委員
(新潟県立大学) 猪口理事長、熊谷副理事長 ほか5名
(事務局) 杉山知事政策局長、丸山総務管理部副部長、
嘉藤行政改革推進室長、唐沢文書私学課長 ほか5名
- 4 次第
(1) 開会
(2) 議事
ア 平成22年度財務諸表について
イ 平成22年度業務実績に関する評価について
(3) 閉会

5 議事概要

「○」: 委員、「◇」: 県立大学、「□」 評価委員会事務局

(1) 平成22年度財務諸表について ～文書私学課長から説明後質疑～

○ 平成22年度から「金融商品」、「賃貸不動産」について、新たな開示基準が適用されているはずですが、これについて適用がされていないようです。

会計基準は適用時期が非常に重要であり、重点をおいてみていただければと思います。ただ、開示自体は、利益処分の特段影響しないので、利益処分については特に意見はありません。

○ 財務諸表を公表する前に、訂正するということがよろしいでしょうか。

□ 事務局としても法人とよく連携して、公表までには改めさせていただきたい。

○ 利益処分については、提案では目的積立金にしたいということですが、評価委員会としてはそれでよろしいでしょうか。ご意見ございますか。

～意見なし～

○ 平成22年度の財務諸表及び利益処分については、県が承認するについて特に意見はないということとします。

(2) 平成 22 年度業務実績に関する評価について ～行政改革推進室長から説明後質疑～

- 資料を基に大項目ごとの評価をまず行い、その後に全体評価という形にしたいと思います。大項目評価に当たっては、昨年度の評価結果を考慮しつつ評価する必要があると思います。

それでは教育から、順番に進めていきたいと思います。

教育に関する事項ですが、事業評価は s が 1 件、a が 9 件、b が 4 7 件、指標評価は s、a、b がそれぞれ 2 件ずつで、これをどう評価するかです。

昨年度は、事業評価は s が 2 件、a が 1 4 件、b が 3 6 件、指標評価は s が 3 件、b が 2 件、c が 1 件で、A 評価でした。

- 昨年は、指標評価において s が 5 割ということを重視したと思います。
- 評価が難しいですね。
- それでは、教育は後で審議することにしましょう。
- 次に研究に関する事項ですが、事業評価は a が 3 件、b が 1 件、指標評価は s が 3 件、a が 3 件、b が 1 件です。昨年度は、事業評価は b が 1 件、指標評価は s が 3 件、a が 2 件、b が 1 件、c が 1 件で、A 評価でした。
- 昨年度よりは今年の方が評価がよいので、A 評価とすることは特に問題はないと思います。ただ、事業評価に s が 1 つもないことを勘案すると、全体を S 評価にするのは難しいと思います。
- いかがでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは、研究に関する事項は A 評価といたします。
- 次に、地域貢献に関する事項です。事業評価は a が 2 件、b が 1 0 件、指標評価は s が 2 件、b が 3 件です。昨年度は、事業評価は s が 1 件、a が 2 件、b が 8 件、c が 1 件で、指標評価は s が 3 件、a が 2 件で A 評価でした。
- 昨年度と比較すると、やや評価が落ちている印象があります。
- 慎重に評価する必要があるので、本項目も後にはいかがでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは、研究に関する事項についても、後で審議させていただきます。
- 次に、業務運営に関する事項です。事業評価はbが11件、指標評価はsが1件、cが1件です。昨年度は、事業評価はbが11件で、指標評価はsが1件、aが1件でB評価でした。
- 昨年度と比較して指標評価でaが1減り、cが1つ増えているが、全体としてはほぼ同じであり、B評価でよいのではないのでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは、業務運営に関する事項はB評価といたします。
- 次に、財務内容に関する事項です。事業評価はaが1件、bが5件、cが1件、指標評価はsが2件です。昨年度は、事業評価はaが1件、bが6件、指標評価はsが2件でB評価でした。
- 指標評価については、昨年度と同じです。事業評価については、bが1つ減り、代わりにcが1つ増えているので、A評価とはいえないと思います。やはりB評価でよいのではないのでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは、財務内容に関する事項はB評価といたします。
- 次に、自己点検・自己評価に関する事項です。これは小項目が1つしかなく、それがb評価ですので、大項目別評価もB評価ということによろしいのでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは、自己点検・自己評価に関する事項はB評価といたします。
- 次に、その他業務運営に関する事項です。指標評価はなく、事業評価のみですが、bが6件、cが2件と昨年度と同様であることから、昨年度と同じB評価ということによろしいでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは、その他業務運営に関する事項はB評価といたします。

- 教育に関する事項と地域貢献に関する事項の評価に戻ります。
- 印象としては、仮に地域貢献に関する事項をA評価としたとすると、教育は地域貢献よりはよい評価となるような気がしますので、整合性の観点から、先に地域貢献について評価を行った方がよいのではないのでしょうか。
- 地域貢献に関する事項は、昨年度はA評価でした。それと比較してみると、指標評価では、sもaも減っています。また事業評価では、sが減っていますが、cがなくなっています。
- cが減ったということは、それだけの努力があったということであり、小項目評価を行う時に取組実績をみていたところ、地域貢献については非常に頑張っていたとの印象を受けました。去年と比較すると、少しよくないのかもしれませんが、続けていくことは難しいことであり、全体を勘案するとA評価でもよいのではないのでしょうか。
- 昨年度は何がcだったのでしょうか。
- 知的財産ポリシーを策定するとしていたものを策定しなかったため、cでした。これについては、今回、策定したとしています。
- 地域貢献については、かなり行っていたように思えます。また、去年の小項目評価結果と比較しても、今年度は甲乙つけがたく、難しいところです。A評価でよいのではないのでしょうか。
- 数字だけみると、事業評価、指標評価はbが多いですが、sとなった項目があることを、どう考えるかです。
- sは受託・共同研究数、審議会等委員委嘱数です。また、aであった連続公開講座の実施などもかなり重要な貢献であると評価するのであれば、A評価とすることもあり得るのではないのでしょうか。
- 連続公開講座の参加者数が非常に多かったという話が、第1回評価委員会でありました。
- bが多いとしても、指標評価でみるとsが4割あるのはかなり大きいと思います。
- それでは、地域貢献に関する事項はA評価とさせていただきます。

～委員全員了解～

- 次に教育に関する事項です。昨年度と比較すると、指標評価ではs、cがなくなり、aが増えています。また、事業評価では全体としてbが増えています。
- 先程お話があったように、地域貢献に関する事項よりも、こちらの教育に関する事項の方がよいのかもしれませんが。ただ、そういった比較がそもそも成り立つのかという話はありませんが。
- 教育というのは、やはり県立大学の根幹ともいえるべきところですので、事業評価の1つ1つの小項目はかなり重いという気がします。これをどのように考えるかです。
- 教育に関する事項の事業評価については、大学による自己評価の段階で、「概ね制度化してきたためb」と、昨年度と比較してbに下げたものが多いです。それをどのように受け止めて、全体の評価につなげるかということだと思います。
- 事業評価をみるとaが9つもあります。教育に関する事項は他の大項目と比較して、項目数が非常に多く、この9項目を重視する可能性があるのではないのでしょうか。
- 昨年度はホームページを開設したなど新しく始めるものが多く、aが取りやすかったという面もあります。ただ、継続して行うというのはやはり難しいことであり、何年かしてから制度的に確立したのでB評価というものはあるかもしれませんが、今すぐにB評価というものはエンカレッジにはならないのではないのでしょうか。数値からいっても、地域貢献に関する事項よりも、よい評価となるのではないのでしょうか。
- まだ2年目であり、よく頑張っているということで、教育に関する事項はA評価としてはいかがでしょうか。

～委員全員了解～

- それでは評価結果を確認しますと、教育、研究、地域貢献に関する事項がA評価、業務運営、財務、自己点検・自己評価、その他業務運営に関する事項がB評価ということです。
- 最後に、大項目別評価結果を踏まえて全体評価を行います。
- 大項目別評価結果をみますと、昨年度の評価結果と同じであり、特別なご意見がないとすると、全体評価も昨年度と同じになるかと思います。

- やはり、教育、研究、地域貢献が根幹であり、そのほかの業務運営、財務、自己点検・自己評価、その他業務運営は当然やるべきことであり、前3者が順調であるということは、全体として「順調である」と評価して差し支えないと思います。

～委員全員了解～

- 以上で、本日の議題は終了しました。本日の審議を終了いたします。